

Ⅱ 集出荷段階の動向

(1) 相対取引価格・数量

① 相対取引価格(平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年8月)(速報)

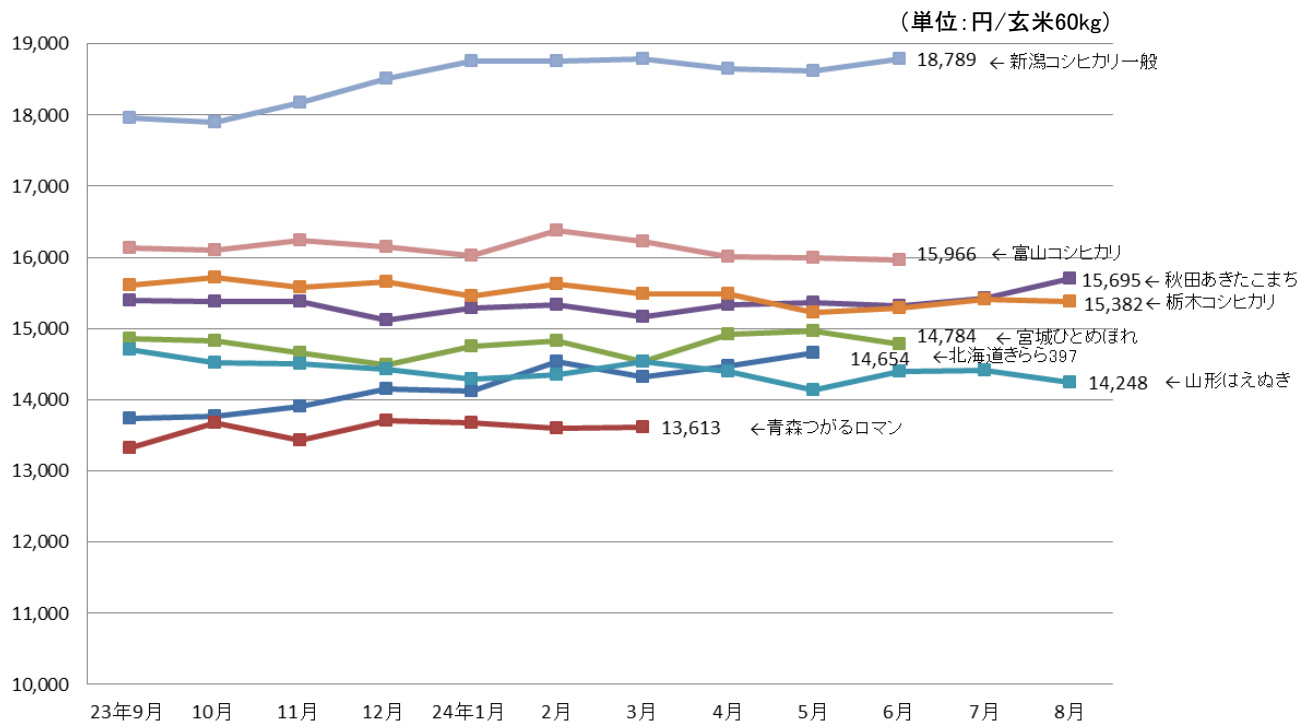
(単位:円/玄米60kg)

産地		品種銘柄 (地域区分)	24年8月 ①	【参考】			
				24年7月 ②	対前月比 ①/②	23年8月 (22年産) ③	対前年 同期比 ①/③
北海道	北海道	きらら397	—	—	—	—	—
	北海道	ななつぼし	—	—	—	—	—
東北	青森	つがるロマン	—	—	—	—	—
	青森	まっしぐら	13,675	13,790	(99%)	11,246	(122%)
	岩手	ひとめぼれ	14,566	14,629	(100%)	12,596	(116%)
	岩手	あきたこまち	—	—	—	—	—
	宮城	ひとめぼれ	—	—	—	12,667	—
	宮城	ササニシキ	—	—	—	—	—
	秋田	あきたこまち	15,695	15,423	(102%)	12,547	(125%)
	山形	はえぬぎ	14,248	14,416	(99%)	11,858	(120%)
	福島	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	福島	コシヒカリ	14,044	13,865	(101%)	—	—
	福島	コシヒカリ	—	—	—	—	—
関東・東山	茨城	コシヒカリ	15,611	15,700	(99%)	—	—
	栃木	コシヒカリ	15,382	15,405	(100%)	12,575	(122%)
	埼玉	彩のかがやき	—	—	—	—	—
	千葉	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	長野	コシヒカリ	—	—	—	—	—
北陸	新潟	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	新潟	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	新潟	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	新潟	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	富山	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	石川	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	福井	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	福井	ハナエチゼン	—	—	—	—	—
東海・近畿	三重	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	滋賀	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	滋賀	キヌヒカリ	—	—	—	—	—
	兵庫	コシヒカリ	—	—	—	—	—
中国・四国	鳥取	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	島根	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	広島	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	山口	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	徳島	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	香川	ヒノヒカリ	15,061	14,916	(101%)	11,772	(128%)
	高知	コシヒカリ	—	—	—	—	—
九州	福岡	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—
	佐賀	夢しずく	—	14,567	—	—	—
	熊本	ヒノヒカリ	15,165	15,134	(100%)	—	—
	大分	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—
	宮崎	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	鹿児島	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—
全銘柄平均価格			15,541	15,643	(99%)	13,283	(117%)

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

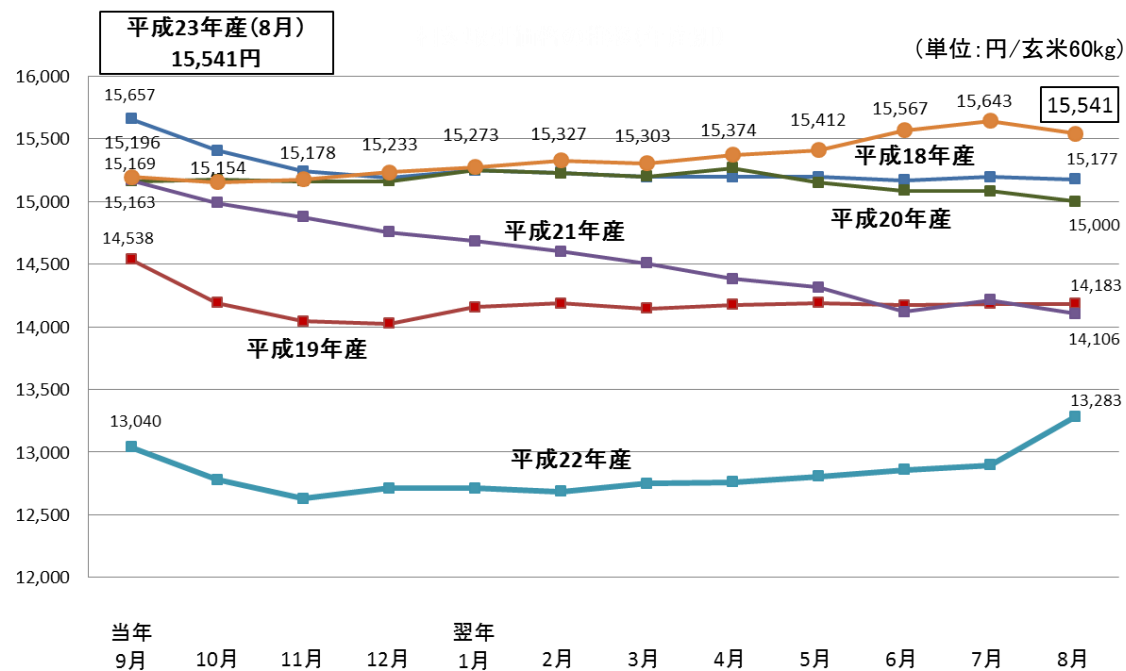
- 注1: 相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。
- 2: また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。
- 3: 産地銘柄は、ア 22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。
- 4: 全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。
- 5: 23年8月は22年産の価格である。
- 6: 23年産については速報値である。

② 相対取引価格の推移（主な産地銘柄別、平成23年産米）



資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注1: 相対取引価格に関する留意点については、6ページの注を参照。
2: 月間の取引量が1,000トン未満となった産地銘柄については、当該月の価格は上表に掲載していない。

③ 相対取引価格（年産別）



資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注: 相対取引価格に関する留意点については、6ページの注を参照。

④ 相対取引数量

(累積数量、平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年8月)(速報)

(単位：玄米トン)

産地 品種銘柄 (地域区分)				23年産 (24年8月まで) ①	(前年比) ①/②	(前々年比) ①/③	22年産 (23年8月まで) ②	21年産 (22年8月まで) ③
北海道	北海道	きらら397		128,215	(119%)	(150%)	107,967	85,255
	北海道	なつぽし		155,444	(117%)	(170%)	133,286	91,486
東北	青森	つがるロマン		41,778	(94%)	(71%)	44,400	59,109
	青森	まっしぐら		69,453	(145%)	(139%)	47,891	49,828
	岩手	ひとめぼれ		122,431	(112%)	(137%)	109,038	89,543
	岩手	あきたこまち		26,646	(100%)	(99%)	26,669	26,788
	宮城	ひとめぼれ		150,860	(96%)	(141%)	157,533	106,705
	宮城	ササニシキ		12,283	(95%)	(120%)	12,928	10,260
	秋田	あきたこまち		200,040	(99%)	(97%)	201,181	207,215
	山形	はえぬき		130,366	(102%)	(102%)	128,250	128,005
	福島	コシヒカリ	会津	34,908	(94%)	(89%)	37,154	39,381
	福島	コシヒカリ	中通り	43,049	(129%)	(95%)	33,361	45,223
	福島	コシヒカリ	浜通り	7,347	(43%)	(40%)	16,980	18,578
関東・東山	福島	ひとめぼれ		34,525	(77%)	(69%)	45,038	50,070
	茨城	コシヒカリ		59,533	(118%)	(109%)	50,605	54,864
	栃木	コシヒカリ		127,382	(104%)	(88%)	123,017	144,846
	埼玉	彩のかがやき		12,503	(443%)	(104%)	2,822	12,069
	千葉	コシヒカリ		39,387	(89%)	(87%)	44,282	45,414
北陸	長野	コシヒカリ		55,284	(95%)	(94%)	58,079	58,969
	新潟	コシヒカリ	一般	131,931	(99%)	(88%)	133,729	149,597
	新潟	コシヒカリ	魚沼	28,137	(140%)	(132%)	20,145	21,267
	新潟	コシヒカリ	佐渡	18,397	(112%)	(101%)	16,403	18,273
	新潟	コシヒカリ	岩船	14,515	(106%)	(95%)	13,667	15,315
	富山	コシヒカリ		96,936	(97%)	(118%)	100,087	81,924
	石川	コシヒカリ		27,879	(91%)	(105%)	30,517	26,530
	福井	コシヒカリ		24,922	(96%)	(88%)	26,080	28,292
東海・近畿	福井	ハナエチゼン		12,016	(49%)	(60%)	24,352	20,149
	三重	コシヒカリ	一般	15,510	(87%)	(92%)	17,800	16,824
	滋賀	コシヒカリ		25,563	(91%)	(97%)	28,053	26,327
	滋賀	キヌヒカリ		13,244	(92%)	(89%)	14,440	14,916
中国・四国	兵庫	コシヒカリ		12,787	(86%)	(85%)	14,938	14,966
	鳥取	コシヒカリ		6,471	(60%)	(46%)	10,801	14,030
	島根	コシヒカリ		23,378	(112%)	(99%)	20,901	23,686
	広島	コシヒカリ		17,367	(75%)	(81%)	23,019	21,509
	山口	コシヒカリ		15,016	(97%)	(86%)	15,456	17,533
	徳島	コシヒカリ		9,899	(94%)	(86%)	10,553	11,521
	香川	ヒノヒカリ		13,859	(86%)	(85%)	16,191	16,237
九州	高知	コシヒカリ		6,082	(85%)	(69%)	7,166	8,863
	福岡	ヒノヒカリ		22,623	(100%)	(81%)	22,639	27,888
	佐賀	夢しずく		12,421	(101%)	(94%)	12,273	13,212
	熊本	ヒノヒカリ		13,780	(190%)	(100%)	7,264	13,736
	大分	ヒノヒカリ		11,326	(113%)	(69%)	9,988	16,442
	宮崎	コシヒカリ		6,179	(81%)	(51%)	7,597	12,014
鹿児島				7,658	(219%)	(94%)	3,495	8,152
全銘柄合計契約数量				2,583,668	(104%)	(101%)	2,482,817	2,553,951

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

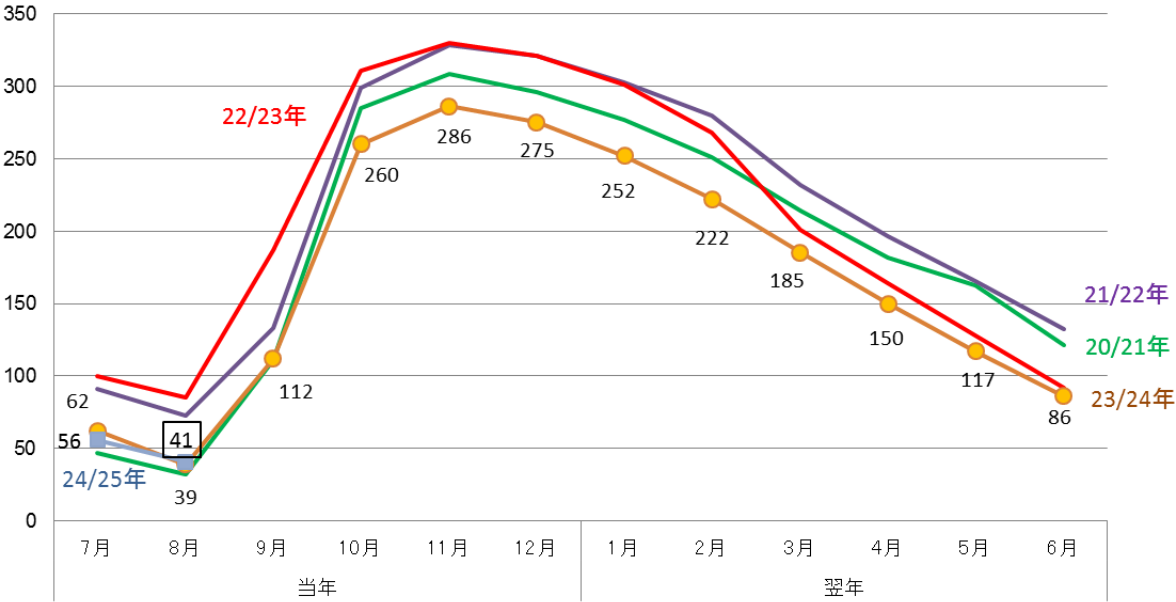
注1：相対取引数量は、ア 全国団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者が、卸売業者等と主食用の相対取引契約（数量と価格が決定した時点を基準としている。）を行った数量である。
 なお、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本の産地銘柄)については受渡地を西日本としているものを対象としている。

2：産地銘柄は、ア 22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のもの。

3：全銘柄合計契約数量は、農林水産省が公表している相対取引価格の報告対象銘柄の契約数量の合計。

(2) 民間在庫（出荷段階）の推移

単位: 万トン



(単位: 万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
20/21年	47	32	111	285	308	296	277	251	214	182	163	121	191
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132	213
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11	+22
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92	207
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	▲0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40	▲5
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86	171
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6	▲36
24/25年	56	41											49
対前年差	▲6	+2											▲122

資料：農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」(～20年7月)、農林水産省「米穀の取引に関する報告徴収」(20年8月～)

- 注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米の月末在庫量(玄米換算)の値である。
2：米穀の出荷の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が500トン以上の者の値である。
3：期間については、23/24年であれば、23年7月～24年6月である。
4：22/23年7月末以降は、速報値である。
5：23年3月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。
6：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 23年産米相対取引基準価格（全農）の推移
（全農公表資料をもとに農林水産省において算出）

(円/60kg、建値：基準地着、1等、包装代・消費税込み)

期間	相対取引基準価格 (全農)	相対取引価格 (農林水産省)	期間	相対取引基準価格 (全農)	相対取引価格 (農林水産省)
23年 8/8～	15,912 (1)	非公表	2/6～	16,009 (57)	15,327 (107)
8/15～	15,408 (2)		2/13～	16,009 (57)	
8/22～	15,584 (5)		2/20～	16,009 (57)	
8/29～	16,120 (11)		2/27～	16,009 (57)	
9/5～	16,006 (19)	15,196 (84)	3/5～	16,009 (57)	15,303 (107)
9/12～	16,848 (29)		3/12～	16,009 (57)	
9/20～	16,638 (32)		3/19～	16,009 (57)	
9/26～	16,101 (43)		3/26～	16,009 (57)	
10/3～	15,887 (56)	15,154 (108)	4/2～	16,009 (57)	15,374 (101)
10/11～	15,887 (56)		4/9～	16,009 (57)	
10/17～	15,888 (56)		4/16～	16,009 (57)	
10/24～	15,884 (57)		4/23～	16,009 (57)	
10/31～	15,884 (57)	15,178 (106)	5/7～	16,009 (57)	15,412 (98)
11/7～	16,032 (57)		5/14～	16,009 (57)	
11/14～	16,032 (57)		5/21～	16,009 (57)	
11/21～	16,032 (57)		5/28～	16,009 (57)	
11/28～	16,032 (57)	15,233 (107)	6/4～	16,009 (57)	15,567 (102)
12/5～	16,032 (57)		6/11～	16,009 (57)	
12/12～	16,032 (57)		6/18～	16,009 (57)	
12/19～	16,032 (57)		6/25～	16,009 (57)	
12/26～	16,032 (57)	15,273 (107)	7/2～	16,009 (57)	15,643 (98)
24年 1/10～	16,032 (57)		7/9～	16,009 (57)	
1/16～	16,065 (57)		7/17～	16,009 (57)	
1/23～	16,065 (57)		7/23～	16,009 (57)	
1/30～	16,009 (57)		7/30～	16,009 (57)	

注1：相対取引基準価格(全農)は、全農が公表している全産地銘柄の相対取引基準価格を基に、農林水産省において、消費税及び包装代(154円/60kg)を加算し、前年産の検査数量ウエイトを用いて加重平均したもの。
2：相対取引基準価格(全農)の欄の括弧内の数字は、全農が公表している相対取引基準価格の産地銘柄数。
3：相対取引価格(農林水産省)の欄の括弧内の数字は、農林水産省が公表している相対取引価格の全銘柄平均価格の算出に用いた産地銘柄数。

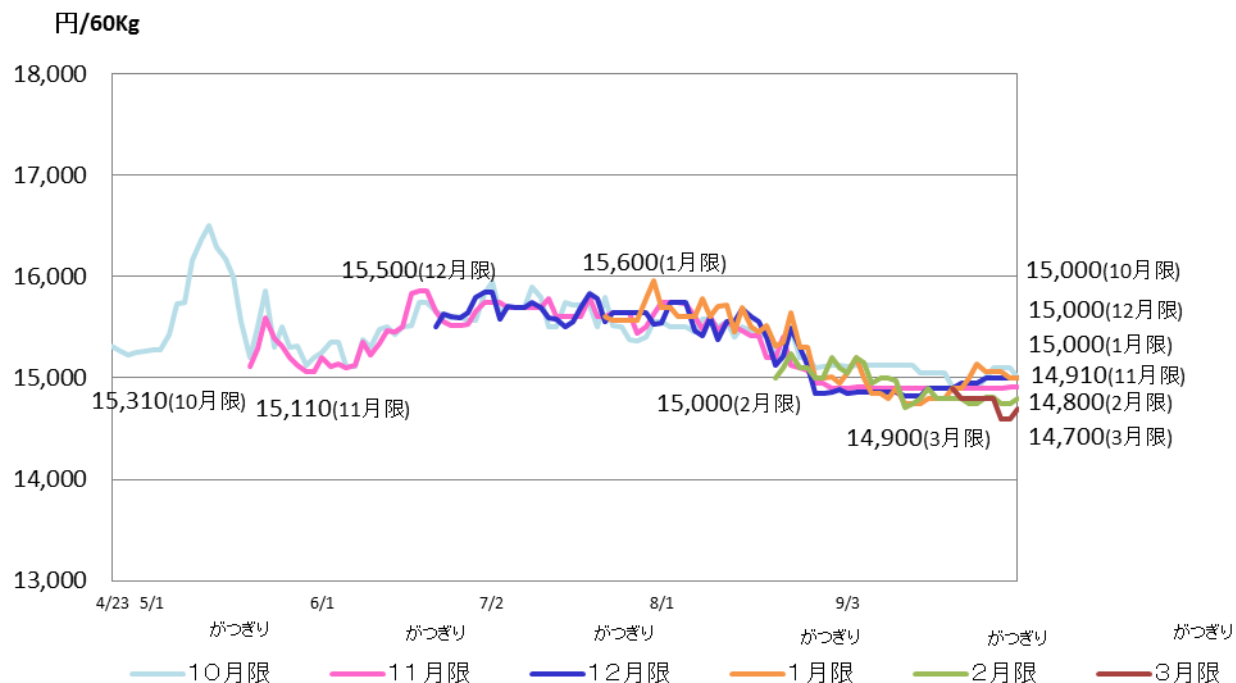
(4) (株)加工用米取引センターの取引結果

取引日	商品名	終値
平成24年9月3日(月曜日)	24年千葉ふさおとめ(主食用)	15,800円/60kg (263円/kg)
平成24年9月3日(月曜日)	24年千葉ふさおとめ(主食用)	15,700円/60kg (262円/kg)

資料：(株)加工用米取引センターHP

(5) 米の先物取引価格の推移

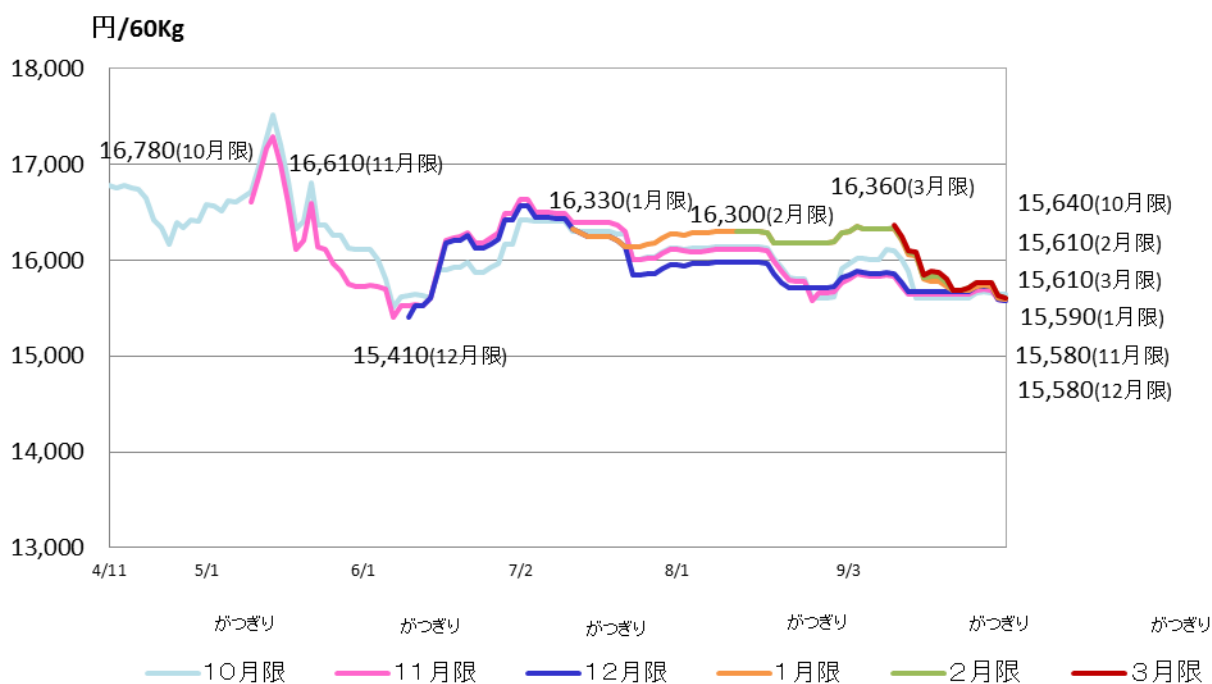
①東京穀物商品取引所



出典: 東京穀物商品取引所

注: 取引開始から10月3日日中取引終了までの価格の推移である。

②関西商品取引所



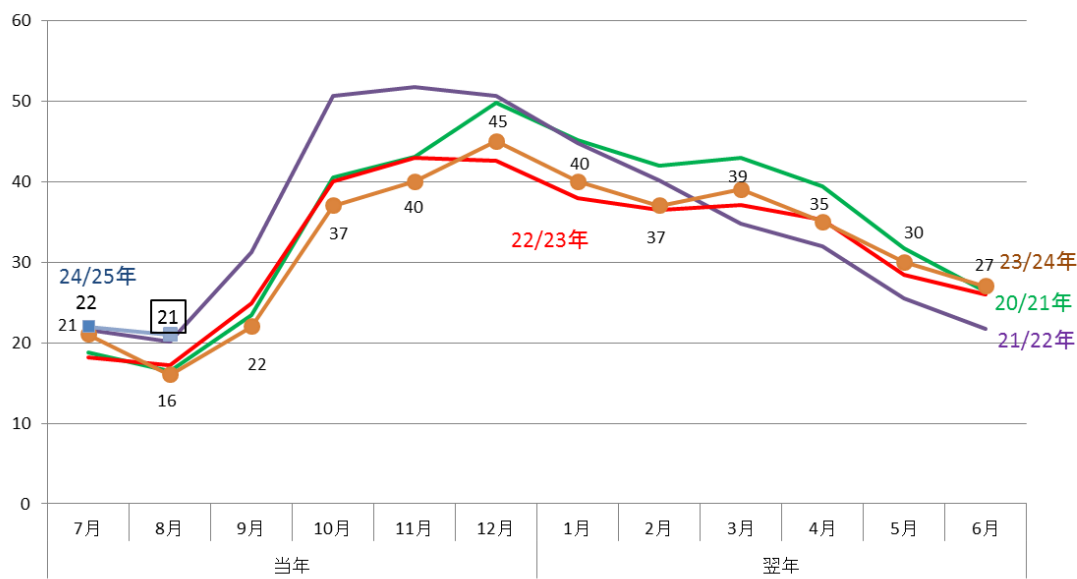
出典: 関西商品取引所

注: 取引開始から10月3日後場第3節までの価格の推移である。

Ⅲ 卸売段階の動向

(1) 民間在庫（販売段階）の推移

単位: 万トン



(単位: 万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
20/21年	19	17	23	41	43	50	45	42	43	39	32	26	35
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22	35
対前年差	+3	+4	+8	+10	+9	+1	▲0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5	±0
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26	32
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	▲7	▲4	+2	+3	+3	+4	▲3
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27	32
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1	±0
24/25年	22	21											22
対前年差	+1	+5											▲10

資料：農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」(～20年7月)

農林水産省「米穀の取引に関する報告」(20年8月～)

注1：水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米の月末在庫量(玄米換算)の値である。

2：米穀の販売の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が4,000トン以上の者の値である。

3：期間については、23/24年であれば、23年7月～24年6月である。

4：22/23年7月以降の値は、速報値である。

5：23年3月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。

6：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 業者間取引の状況

① 日本コメ市場（随時取引の結果）

○ 価格は、主にスポット取引の価格であり、相当期間にわたり安定的に行う取引の価格とは性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

関東到着基準、1等、包装代込、税抜き、円/60kg														
年産・産地銘柄		9月下旬	10月上旬	10月下旬	11月上旬	11月下旬	12月上旬	12月下旬	1月上旬	1月下旬	2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月下旬
23年産	北海道きらら397	-	-	13,903	13,992	-	14,000	-	-	-	-	-	-	-
23年産	青森つがるロマン	13,461	13,825	13,678	13,835	13,884	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産	秋田あきたこまち	15,333	15,096	15,233	15,437	15,294	15,427	15,466	15,523	15,483	15,479	15,679	15,713	15,679
23年産	宮城ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	14,320	-	14,805	14,726	-	15,490	-
23年産	福島中通りコシヒカリ	-	-	-	14,262	-	-	-	-	-	13,979	-	14,236	14,415
23年産	茨城コシヒカリ	14,658	-	14,878	-	-	-	14,873	-	15,274	15,390	-	15,254	15,489
23年産	栃木コシヒカリ	14,545	14,725	14,803	14,857	-	14,931	-	14,938	15,249	15,750	15,481	15,481	15,575
23年産	新潟コシヒカリ	17,597	17,941	18,021	18,614	-	-	-	-	18,758	-	-	-	17,903

年産・産地銘柄		4月上旬	4月下旬	5月上旬	5月下旬	6月上旬	6月下旬	7月上旬	7月下旬	8月上旬
23年産	北海道きらら397	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産	青森つがるロマン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産	秋田あきたこまち	16,201	-	18,392	19,195	-	18,633	-	18,761	18,758
23年産	宮城ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産	福島中通りコシヒカリ	15,546	-	16,956	-	16,750	-	-	-	16,348
23年産	茨城コシヒカリ	15,757	-	-	18,254	17,800	-	17,137	16,871	16,843
23年産	栃木コシヒカリ	-	-	-	-	-	17,540	-	17,133	-
23年産	新潟コシヒカリ	-	-	-	19,265	-	-	-	-	-

出典：日本コメ市場株式会社HP
注1：随時取引とは、取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引である。
2：上記価格は、日本コメ市場株の取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
3：上期は、1日から15日まで、下期は、16日から月末までを示す。
4：「－」に関しては、成約数量が日本コメ市場の内部規程で定める基準を満たさなかったため非公表。

② 日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）
（主たる銘柄の成約状況）

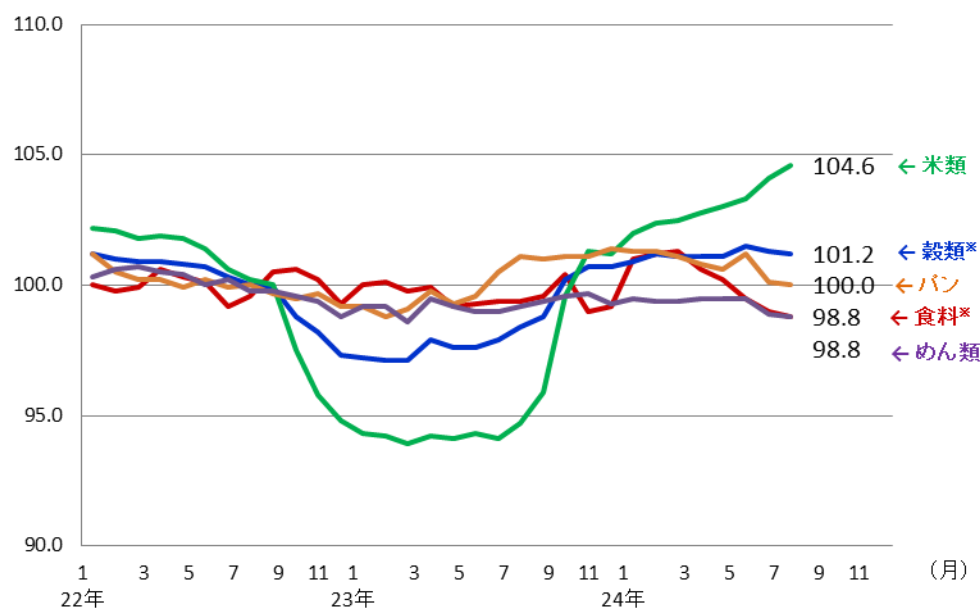
年産・産地銘柄		平成24年度							
		第1回		第2回		第3回		第4回	
		5月10日		7月19日		8月23日		9月13日	
		成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量
23年産	宮城ひとめぼれ	-	-	18,793	33	18,206	26	-	-
23年産	秋田あきたこまち	18,949	91	18,810	43	18,200	24	-	-
23年産	山形はえぬき	18,640	48	-	-	17,842	61	-	-
23年産	福島会津コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	15,500	48
23年産	茨城コシヒカリ	18,189	78	16,930	79	-	-	-	-
23年産	栃木コシヒカリ	-	-	17,400	44	-	-	-	-
23年産	千葉コシヒカリ	18,225	67	-	-	-	-	-	-
23年産	新潟一般コシヒカリ	19,083	133	17,781	47	-	-	-	-
24年産	秋田あきたこまち	-	-	-	-	-	-	16,334	122
24年産	茨城コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	15,510	60
24年産	茨城あきたこまち	-	-	-	-	15,900	36	-	-
24年産	千葉ふさおとめ	-	-	-	-	15,969	48	-	-
24年産	富山コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	16,754	53
成約米穀の平均価格（加重平均）		17,829	1,278	17,264	505	16,611	463	16,307	473

出典：日本コメ市場株式会社のHP
注1：取引会における取引は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会において入札により行われるものである。
2：価格は、1等、包装代（紙袋）含む関東着基準であり、取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
3：「－」は、同社のホームページにおいて非公表を示す。

IV 小売・消費段階の動向

(1) 消費者物価指数の推移

(図) 消費者物価指数の推移



注1：図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。
2：図中の数値は、平成24年8月の消費者物価指数となる。
3：図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

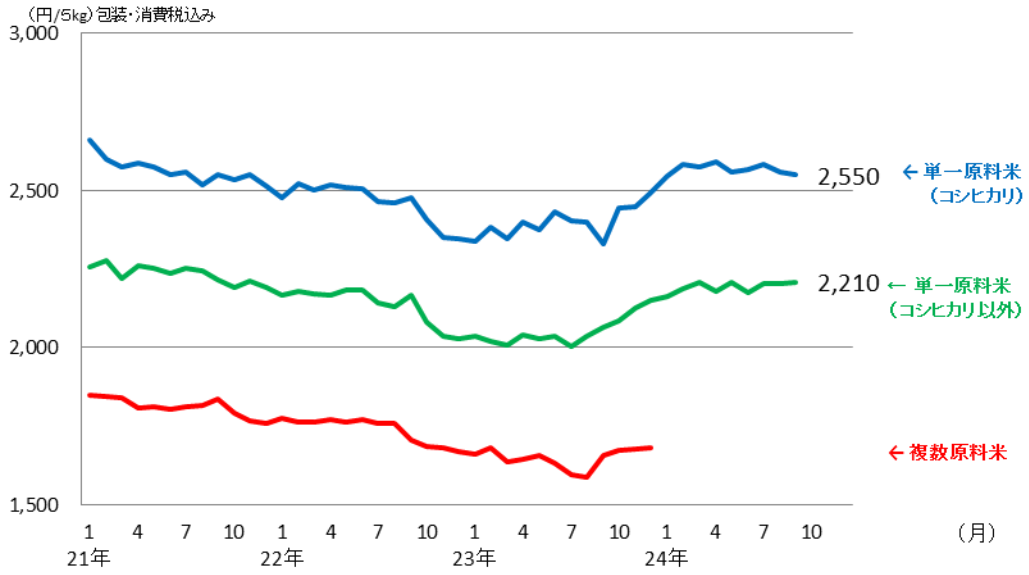
(表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%	100.0	▲1.9%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%	99.2	▲0.8%
平成23年1月	100.0	0.0%	97.2	▲4.0%	94.3	▲7.7%	94.3	▲7.8%	99.2	▲2.0%	99.2	▲1.1%
2月	100.1	0.3%	97.1	▲3.9%	94.2	▲7.7%	94.0	▲7.9%	98.8	▲1.7%	99.2	▲1.4%
3月	99.8	▲0.1%	97.1	▲3.8%	93.9	▲7.8%	93.8	▲7.9%	99.1	▲1.1%	98.6	▲2.1%
4月	99.9	▲0.7%	97.9	▲3.0%	94.2	▲7.6%	94.1	▲7.7%	99.8	▲0.4%	99.5	▲1.0%
5月	99.2	▲1.1%	97.6	▲3.2%	94.1	▲7.6%	93.9	▲7.8%	99.3	▲0.6%	99.2	▲1.2%
6月	99.3	▲0.8%	97.6	▲3.1%	94.3	▲7.0%	94.1	▲7.3%	99.6	▲0.6%	99.0	▲1.0%
7月	99.4	0.2%	97.9	▲2.4%	94.1	▲6.5%	94.0	▲6.6%	100.5	0.6%	99.0	▲1.2%
8月	99.4	▲0.2%	98.4	▲1.6%	94.7	▲5.5%	94.6	▲5.6%	101.1	1.1%	99.2	▲0.6%
9月	99.6	▲0.9%	98.8	▲1.1%	95.9	▲4.1%	95.8	▲4.2%	101.0	1.3%	99.4	▲0.4%
10月	100.4	▲0.2%	100.2	1.4%	99.6	2.2%	99.7	2.4%	101.1	1.6%	99.6	0.0%
11月	99.0	▲1.2%	100.7	2.5%	101.3	5.7%	101.5	6.2%	101.1	1.4%	99.7	0.3%
12月	99.2	▲0.1%	100.7	3.5%	101.2	6.8%	101.5	7.2%	101.4	2.2%	99.3	0.5%
平成24年1月	101.0	1.0%	100.9	3.8%	102.0	8.2%	102.3	8.5%	101.3	2.1%	99.5	0.3%
2月	101.2	1.1%	101.2	4.2%	102.4	8.7%	102.7	9.3%	101.3	2.5%	99.4	0.2%
3月	101.3	1.5%	101.1	4.1%	102.5	9.2%	102.8	9.6%	101.1	2.0%	99.4	0.8%
4月	100.6	0.7%	101.1	3.3%	102.8	9.1%	103.0	9.5%	100.8	1.0%	99.5	0.0%
5月	100.2	1.0%	101.1	3.6%	103.0	9.5%	103.2	9.9%	100.6	1.3%	99.5	0.3%
6月	99.5	0.2%	101.5	4.0%	103.3	9.5%	103.6	10.1%	101.2	1.6%	99.5	0.5%
7月	99.0	▲0.4%	101.3	3.5%	104.1	10.6%	104.4	11.1%	100.1	▲0.4%	98.9	▲0.1%
8月	98.8	▲0.6%	101.2	2.8%	104.6	10.5%	104.9	10.9%	100.0	▲1.1%	98.8	▲0.4%

資料：総務省「消費者物価指数」(平成22年基準)
注1：表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。
2：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
3：穀類は、米類(うるち米、もち米)、パン、めん類、他の穀類からなる。
4：平成17年から平成23年のデータは年平均、平成23年1月以降は月次データを用いている。

(2) 小売物価統計の推移

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

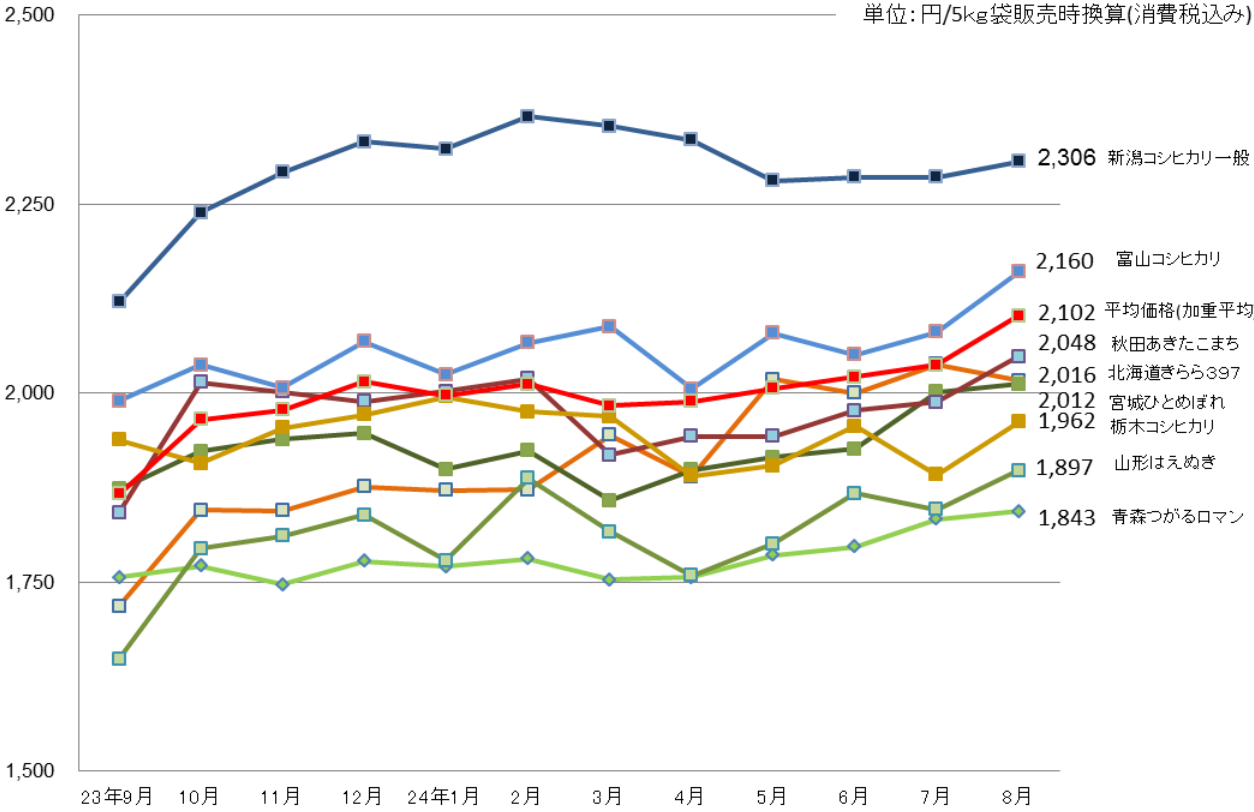
(単位: 円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米		
	単一原料米 (コシヒカリ)	単一原料米 (コシヒカリ以外)	複数原料米
平成17年	2,804	2,375	2,040
平成18年	2,744	2,341	1,996
平成19年	2,670	2,288	1,950
平成20年	2,610	2,270	1,832
平成21年	2,531	2,201	1,812
平成22年	2,462	2,136	1,739
平成23年	2,399	2,053	1,649
平成23年1月	2,338	2,038	1,662
2月	2,382	2,020	1,683
3月	2,347	2,006	1,636
4月	2,399	2,039	1,646
5月	2,375	2,029	1,658
6月	2,432	2,035	1,633
7月	2,405	2,003	1,594
8月	2,399	2,038	1,587
9月	2,330	2,067	1,658
10月	2,445	2,086	1,673
11月	2,448	2,128	1,677
12月	2,493	2,150	1,680
平成24年1月	2,545	2,165	-
2月	2,585	2,188	-
3月	2,576	2,209	-
4月	2,592	2,178	-
5月	2,559	2,206	-
6月	2,568	2,177	-
7月	2,583	2,205	-
8月	2,557	2,202	-
9月	2,550	2,210	-

資料：総務省「小売物価統計」
注1：東京都区部の数値である。
2：特売を除いた価格である。
3：精米ベースである。
4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

(3) 小売価格の推移 (POSデータ)

(図) 小売価格の推移



(表) 小売価格の推移

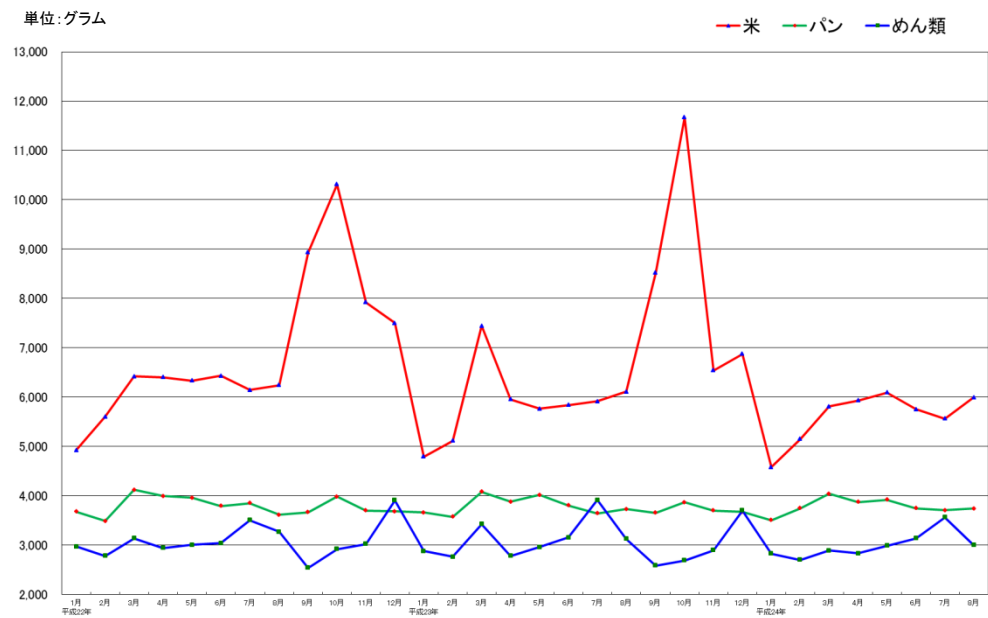
単位: 円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄								
	北海道 きらら397	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬぎ	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	富山 コシヒカリ	全POS取引 平均価格
23年9月	1,718	1,756	1,873	1,842	1,648	1,938	2,120	1,990	1,866
10月	1,845	1,771	1,923	2,014	1,794	1,907	2,238	2,037	1,965
11月	1,845	1,746	1,938	2,001	1,811	1,954	2,292	2,007	1,978
12月	1,876	1,777	1,946	1,988	1,838	1,971	2,332	2,068	2,015
24年1月	1,871	1,770	1,899	2,002	1,778	1,995	2,323	2,025	1,996
2月	1,872	1,781	1,924	2,018	1,887	1,975	2,366	2,067	2,012
3月	1,944	1,753	1,857	1,918	1,816	1,968	2,353	2,087	1,983
4月	1,890	1,756	1,899	1,942	1,759	1,890	2,335	2,005	1,988
5月	2,018	1,785	1,915	1,942	1,801	1,904	2,281	2,079	2,006
6月	2,000	1,797	1,926	1,977	1,867	1,956	2,286	2,050	2,021
7月	2,038	1,833	2,001	1,988	1,846	1,892	2,285	2,081	2,037
8月	2,016	1,843	2,012	2,048	1,897	1,962	2,306	2,160	2,102

資料: (株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成
注1: (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約850店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
2: POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
3: POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
4: 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

(4) 購入数量の推移(家計調査)

(図)購入数量の推移



(表)購入数量の推移

(単位:グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 同月比	購入数量	対前年 同月比	購入数量	対前年 同月比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年1月	4,920	98.0%	3,673	104.3%	2,966	103.9%
2月	5,600	100.2%	3,484	99.7%	2,778	103.3%
3月	6,420	101.3%	4,119	102.2%	3,135	100.4%
4月	6,400	96.7%	3,989	101.1%	2,937	103.0%
5月	6,330	101.8%	3,954	96.6%	3,000	94.2%
6月	6,430	106.1%	3,790	99.1%	3,038	98.8%
7月	6,140	95.8%	3,850	100.1%	3,503	101.3%
8月	6,240	94.4%	3,612	96.2%	3,268	104.6%
9月	8,930	91.6%	3,663	94.4%	2,534	100.2%
10月	10,310	91.7%	3,979	101.0%	2,914	101.2%
11月	7,920	98.5%	3,700	99.0%	3,020	100.9%
12月	7,500	104.9%	3,680	103.1%	3,906	104.4%
平成23年1月	4,790	97.4%	3,656	99.5%	2,875	96.9%
2月	5,110	91.3%	3,573	102.6%	2,763	99.5%
3月	7,440	115.9%	4,076	99.0%	3,424	109.2%
4月	5,950	93.0%	3,878	97.2%	2,776	94.5%
5月	5,760	91.0%	4,015	101.5%	2,958	98.6%
6月	5,840	90.8%	3,804	100.4%	3,149	103.7%
7月	5,910	96.3%	3,640	94.5%	3,911	111.6%
8月	6,110	97.9%	3,724	103.1%	3,122	95.5%
9月	8,520	95.4%	3,653	99.7%	2,583	101.9%
10月	11,670	113.2%	3,866	97.2%	2,686	92.2%
11月	6,540	82.6%	3,700	100.0%	2,893	95.8%
12月	6,870	91.6%	3,669	99.7%	3,695	94.6%
平成24年1月	4,580	95.6%	3,505	95.9%	2,821	98.1%
2月	5,150	100.8%	3,744	104.8%	2,699	97.7%
3月	5,810	78.1%	4,035	99.0%	2,889	84.4%
4月	5,930	99.7%	3,870	99.8%	2,831	102.0%
5月	6,090	105.7%	3,917	97.6%	2,986	100.9%
6月	5,750	98.5%	3,741	98.3%	3,132	99.5%
7月	5,560	94.1%	3,704	101.8%	3,557	90.9%
8月	5,990	98.0%	3,736	100.3%	2,996	96.0%

資料：総務省「家計調査」
注1：二人以上の世帯の数値である。
2：平成20年及び平成21年については、年間の購入数量を示す。
3：精米ベースである。

(5) 米の消費動向（米穀機構による調査：平成23年4月分調査から実施）

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

（上段：対前月比（24年4月からは対前年同月比）、下段：実数（精米g/人））

		平成23年4月		平成23年5月		平成23年6月		平成23年7月		平成23年8月		平成23年9月	
		（暫定値）	内訳	（暫定値）	内訳		内訳		内訳		内訳		内訳
合計		－		▲6.0%		▲1.2%		▲7.2%		+0.2%		+3.1%	
		(5,434)	(100.0%)	(5,106)	(100.0%)	5,045	100.0%	4,681	100.0%	4,692	100.0%	4,839	100.0%
家庭内		－		▲4.5%		0.9%		▲10.5%		+0.3%		+5.9%	
		(3,536)	(65.1%)	(3,377)	(66.1%)	3,406	67.5%	3,047	65.1%	3,055	65.1%	3,236	66.9%
中・外食		－		▲8.9%		▲5.2%		▲0.2%		+0.1%		▲2.1%	
		(1,898)	(34.9%)	(1,729)	(33.9%)	1,639	32.5%	1,635	34.9%	1,637	34.9%	1,603	33.1%
中食		－		▲9.6%		▲8.5%		▲4.2%		+0.3%		▲0.8%	
		(1,152)	(21.2%)	(1,041)	(20.4%)	953	18.9%	913	19.5%	916	19.5%	909	18.8%
外食		－		▲7.8%		▲0.3%		+5.2%		▲0.3%		▲3.8%	
		(746)	(13.7%)	(688)	(13.5%)	686	13.6%	722	15.4%	720	15.4%	693	14.3%
		平成23年10月		平成23年11月		平成23年12月		平成24年1月		平成24年2月		平成24年3月	
			内訳		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳
合計		▲1.2%		+1.5%		▲5.4%		+1.4%		▲0.3%		+2.1%	
		4,783	100.0%	4,856	100.0%	4,596	100.0%	4,661	100.0%	4,649	100.0%	4,748	100.0%
家庭内		▲0.2%		+0.7%		▲8.3%		+3.8%		+2.3%		▲0.2%	
		3,229	67.5%	3,251	66.9%	2,982	64.9%	3,094	66.4%	3,166	68.1%	3,160	66.6%
中・外食		▲3.1%		+3.3%		+0.6%		▲2.9%		▲5.4%		+7.1%	
		1,554	32.5%	1,605	33.1%	1,614	35.1%	1,567	33.6%	1,483	31.9%	1,588	33.4%
中食		▲1.9%		+1.2%		▲1.4%		▲4.6%		▲1.8%		+6.7%	
		892	18.6%	903	18.6%	890	19.4%	849	18.2%	834	17.9%	890	18.7%
外食		▲4.5%		+6.0%		+3.1%		▲0.8%		▲9.6%		+7.6%	
		662	13.8%	702	14.5%	724	15.8%	718	15.4%	649	14.0%	698	14.7%
		平成24年4月		平成24年5月		平成24年6月		平成24年7月		平成24年8月			
			内訳		内訳		内訳		内訳		内訳		
合計		▲0.7%		▲0.04%		+1.8%		+2.3%		▲1.3%			
		5,395	100.0%	5,104	100.0%	5,135	100.0%	4,788	100.0%	4,629	100.0%		
家庭内		+3.0%		+0.4%		+1.2%		+4.0%		+2.3%			
		3,642	67.5%	3,391	66.4%	3,446	67.1%	3,170	66.2%	3,126	67.5%		
中・外食		▲7.6%		▲0.9%		+3.1%		▲1.0%		▲8.1%			
		1,754	32.5%	1,713	33.6%	1,690	32.9%	1,618	33.8%	1,504	32.5%		
中食		▲12.3%		▲5.1%		+5.4%		+3.2%		▲7.1%			
		1,010	18.7%	988	19.4%	1,004	19.6%	942	19.7%	851	18.4%		
外食		▲0.3%		+5.4%		+0.0%		▲6.4%		▲9.4%			
		744	13.8%	725	14.2%	686	13.4%	676	14.1%	652	14.1%		

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：平成23年4月分及び5月分の調査は、東日本大震災のため東北6県及び茨城県を調査対象外としているため、暫定値として公表。

2：平成23年6月分の調査から東北6県及び茨城県が調査対象に含まれており、24年8月分の有効調査世帯数は2,795。

3：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握。家庭外消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯類の概量から推計。

4：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成17年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

5：ラウンドの関係で合計と内訳が合わない場合がある。

② 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協 (店舗・共同購入含む)	農協 (店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから 無償で入手	その他
平成23年4月(暫定値)	0.5	51.6	2.4	5.1	0.0	8.1	1.7	4.4	1.8	5.2	5.4	19.2	1.6
5月(暫定値)	1.3	44.6	3.9	4.3	0.3	8.4	1.2	4.6	1.4	6.4	5.5	24.4	2.9
6月	1.7	45.5	3.7	5.4	0.3	8.4	2.0	4.0	0.9	5.6	6.6	20.7	2.3
7月	1.1	43.6	3.5	4.2	0.4	10.4	1.3	3.8	1.2	7.9	5.6	22.4	2.2
8月	0.8	46.1	4.0	4.8	0.7	10.0	1.1	3.3	1.4	6.0	6.3	22.1	2.1
9月	0.2	48.3	3.1	3.7	0.2	8.7	1.2	3.5	1.4	7.2	6.2	22.7	2.1
10月	0.5	44.5	4.5	2.6	0.4	8.8	1.1	3.5	2.0	7.5	4.6	29.6	2.3
11月	0.0	43.6	2.9	4.4	0.6	7.7	0.9	4.2	1.3	7.3	6.9	28.4	2.6
12月	0.6	45.2	3.3	3.5	0.8	8.5	1.1	3.6	1.0	7.1	6.7	26.4	2.3
平成24年1月	0.4	44.3	4.8	4.4	0.8	8.1	1.5	3.8	0.4	7.1	7.8	23.9	1.9
2月	0.2	47.0	3.9	3.7	0.3	8.6	1.7	3.8	1.5	7.3	8.4	20.5	2.6
3月	0.6	46.7	4.0	4.4	0.2	8.0	1.4	2.9	1.2	7.2	7.1	21.3	1.7
4月	0.7	46.8	5.0	4.6	0.2	7.2	1.5	4.3	1.5	6.8	7.2	18.7	1.6
5月	0.5	45.9	5.1	3.6	0.2	6.4	1.9	4.3	1.7	7.1	9.4	19.4	1.5
6月	1.0	44.9	5.5	3.8	0.1	7.1	2.2	4.4	2.3	5.5	7.8	21.5	1.9
7月	1.4	47.5	5.0	3.6	0.1	7.8	2.2	4.1	1.7	6.5	7.0	20.5	1.8
8月	1.1	46.8	4.4	3.4	0.4	7.5	1.9	4.3	1.2	5.2	7.4	22.6	1.6

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：上記データの留意点については、①の注釈を参照。

(イ) 重視する点(複数回答)

(%)

	産地	品種	年産	価格	(食味 おいしさ)	適量感	安全性	無洗米	精米年月日	栽培方法	製造販売事業者	販売店	その他
平成23年4月(暫定値)	42.6	53.6	31.9	76.0	47.1	8.4	25.4	－	28.2	6.4	7.2	4.2	7.8
5月(暫定値)	45.9	52.4	32.7	77.0	48.3	7.2	27.9	－	27.3	4.7	6.9	3.3	5.3
6月	44.0	53.7	34.6	78.3	50.6	7.6	24.7	－	28.5	4.7	7.9	4.0	4.8
7月	48.0	52.2	33.3	79.6	49.7	8.5	28.4	－	28.1	4.3	6.6	4.3	3.4
8月	50.9	51.2	34.8	78.4	47.8	10.3	31.4	－	25.8	4.4	6.7	4.1	4.8
9月	47.9	50.2	35.9	78.0	48.0	8.0	32.0	－	25.1	3.5	7.5	4.7	4.7
10月	53.5	52.2	37.1	77.5	49.5	10.2	32.5	－	25.6	4.5	6.8	3.8	4.5
11月	53.4	50.7	40.9	77.7	49.9	9.2	35.6	－	26.6	4.3	8.9	4.1	5.2
12月	52.4	49.4	39.5	79.0	49.2	8.4	34.4	－	27.8	3.8	7.9	6.4	4.4
平成24年1月	53.7	51.2	39.5	77.1	47.1	11.5	34.3	－	27.4	5.3	9.2	5.0	4.9
2月	51.0	49.2	37.9	79.0	48.1	8.6	33.3	－	28.8	3.8	8.7	6.0	4.9
3月	54.8	51.3	41.1	76.4	49.9	10.5	33.0	－	29.3	4.2	7.5	5.2	5.4
4月	51.5	48.2	30.2	74.3	44.6	6.7	31.7	11.2	21.0	4.2	6.4	4.2	3.9
5月	52.0	51.1	34.6	75.5	46.5	8.5	29.7	11.5	22.7	4.6	6.6	3.4	2.8
6月	52.2	50.1	33.1	75.4	47.5	9.0	32.3	11.5	23.6	5.0	6.6	4.1	3.7
7月	53.0	50.5	35.4	74.2	48.4	9.0	32.8	11.4	22.9	5.0	7.3	5.0	2.4
8月	54.3	50.8	37.4	74.8	48.8	9.2	32.0	12.1	23.7	5.4	7.8	4.0	1.9

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：上記データの留意点については、①の注釈を参照。

V 生産段階の動向

(1) 国産米（水稻）の作況・収穫量

年産	作付面積 (子実用) ha	10a当たり 収 穫 量 kg	収 穫 量 (子実用) t	(参考)				作況指数
				主食用 作付面積 ha	収 穫 量 (主食用) t	10a当たり 平年収量 kg	生産数量目標 t	
18	1 684 000	507	8 546 000	...	...	529	8 330 983	96
19	1 669 000	522	8 705 000	...	...	529	8 284 755	99
20	1 624 000	543	8 815 000	1 596 000	8 658 000	530	8 149 720	102
21	1 621 000	522	8 466 000	1 592 000	8 309 000	530	8 150 020	98
22	1 625 000	522	8 478 000	1 580 000	8 239 000	530	8 129 990	98
23	1 574 000	533	8 397 000	1 526 000	8 133 000	530	7 949 990	101

出典：農林水産省統計部「統計情報」

注1：作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2：主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。

3：「…」は、事実不詳又は調査を欠くものであることを示す。

(2) 平成24年産水稻の作柄概況(9月15日現在)

①平成24年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量(作況指数)
(全国農業地域別)

全国農業地域	作 付 面 積 （青刈り面積を含む。）			10 a 当たり 予想収量 ①	参 考			
	実 数	前 年 産 と の 比 較			主食用作付 見込面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③＝①×②	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤＝①／④
		対 差	対 比					
	ha	ha	%	kg	ha	t	kg	
全 国	1,641,000	9,000	101	539	1,524,000	8,202,000	530	102
北 海 道	113,200	△ 800	99	572	108,700	621,800	535	107
東 北	413,800	7,600	102	575	374,500	2,155,000	559	103
北 陸	213,400	500	100	545	194,200	1,058,000	534	102
関 東 ・ 東 山	305,900	900	100	541	288,000	1,559,000	535	101
東 海	105,400	0	100	504	100,700	507,100	503	100
近 畿	110,700	0	100	513	107,400	551,600	509	101
中 国	118,200	△ 400	100	524	113,000	591,700	517	101
四 国	57,200	△ 300	99	478	55,500	265,300	484	99
九 州	201,700	1,100	101	492	181,100	889,500	503	98
沖 縄	603	△ 22	96	359	...	...	370	97

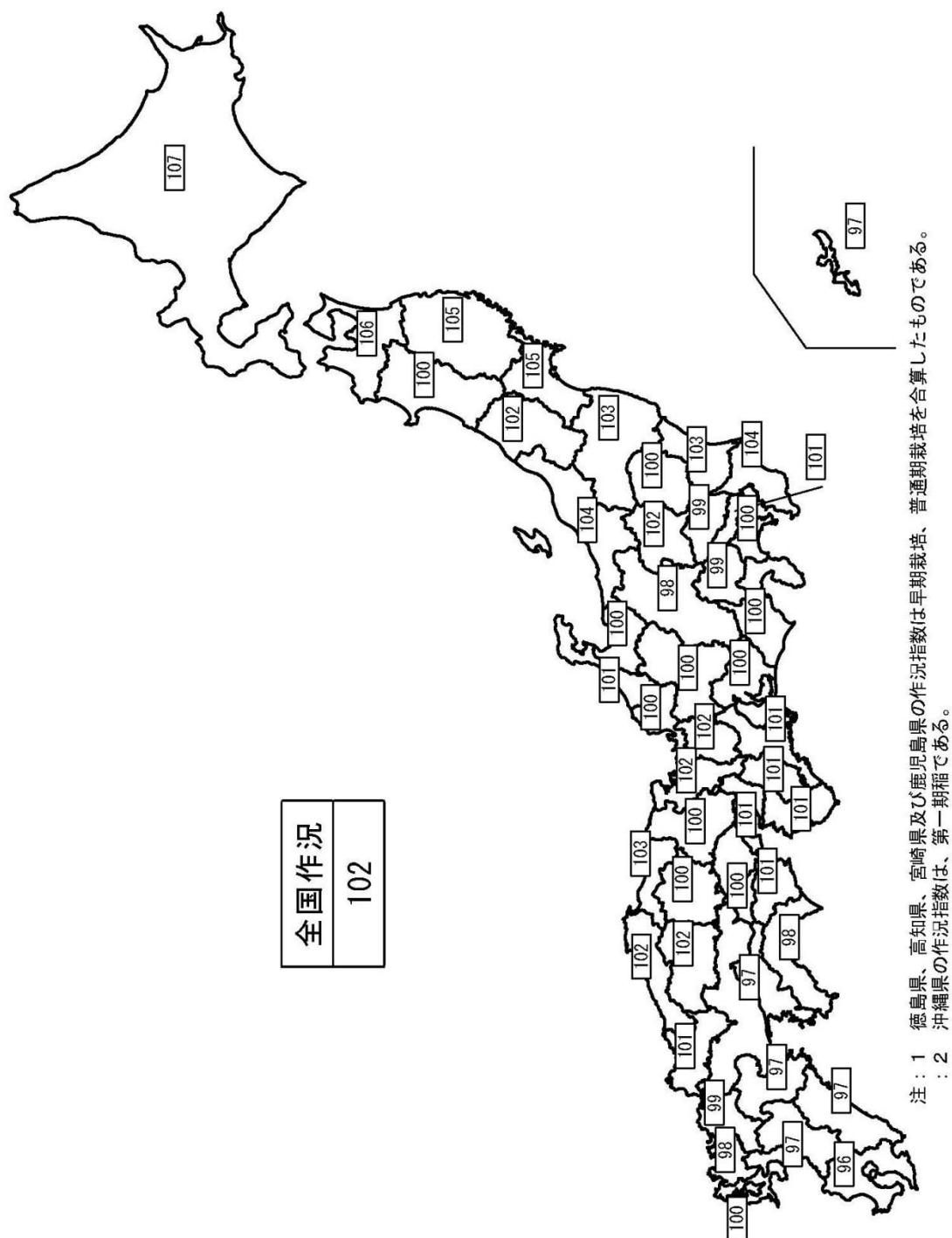
出典：農林水産省「農林水産統計」

注1：主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積(見込み)である。

2：主食用作付見込面積及び予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3：沖縄は第一期稲である。なお、主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

②都道府県別作況指数(9月15日現在)



(3) 加工用米及び新規需要米の取組状況

① 加工用米の生産量

単位:トン

	うるち米	もち米	合計
平成16年産	117,837	4,404	122,241
平成17年産	123,996	4,738	128,734
平成18年産	140,596	7,996	148,592
平成19年産	152,145	10,659	162,804
平成20年産	138,895	10,154	149,048
平成21年産	134,389	6,779	141,168
平成22年産	190,883	21,945	212,829
平成23年産	122,741	32,233	154,973

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注1：四捨五入の関係で個々の数字の積み上げと合計が一致しない場合がある。

2：平成23年産については、平成23年10月15日現在。

② 新規需要米の用途別認定状況

用 途 区 分	平成20年産		平成21年産		平成22年産		平成23年産	
	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)
米 粉 用 米	566	108	13,041	2,401	27,796	4,957	40,311	7,324
飼 料 用 米	8,020	1,410	23,264	4,123	81,237	14,883	183,033	33,955
W C S 用 稲 (稲発酵粗飼料用稲)	—	9,089	—	10,203	—	15,939	—	23,086
バイオエタノール用米	2,426	303	2,314	295	2,940	397	2,998	415
輸 出 用 米	391	74	926	164	2,184	388	1,626	287
そ の 他 (わら専用稲、青刈り用稲等)	982	1,330	1,108	956	694	508	852	501
合 計	12,386	12,314	40,654	18,142	114,851	37,072	228,820	65,569

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」

注1：WCS用稲、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため認定数量及び生産量はなし。

2：四捨五入の関係で個々の数字の積み上げと合計が一致しない場合がある。

3：「その他」の取組には、主食用以外の用途のための種子等、その用途が主食用米の需給に影響を及ぼさないものの取組が含まれる。

4：生産量については平成22年産から徴収したものであり、実際の流通量と一致（見込み含む）。

5：平成23年産については平成23年10月15日現在。

(4) 水稻うるち玄米の検査結果

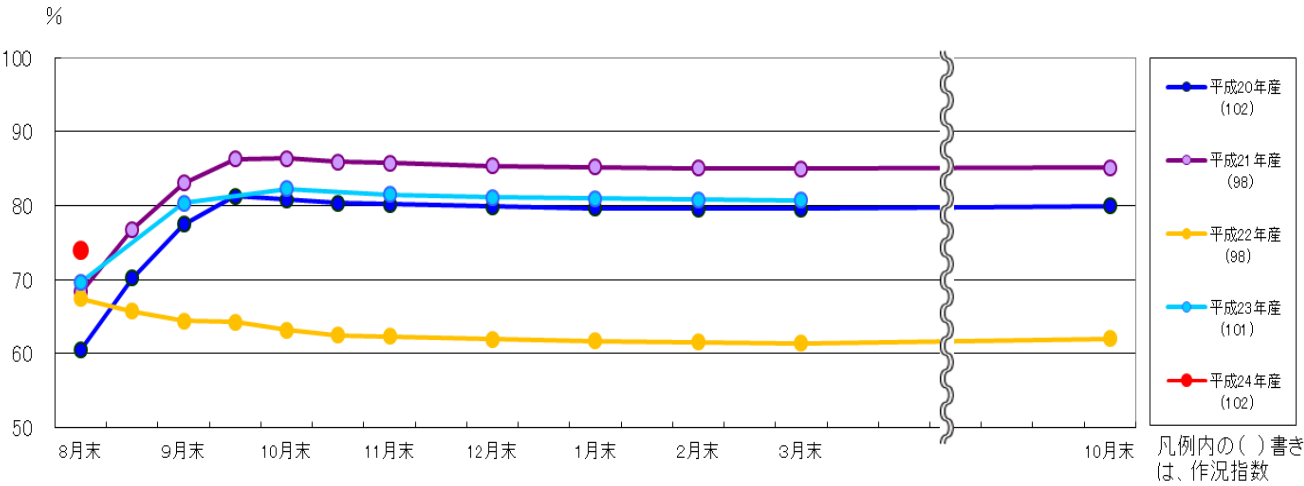
① 検査数量及び等級比率(年産別)

(単位:トン、%)

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23 ※1	4,413,209	3,559,236	721,964	57,523	74,486	80.6	16.4	1.3	1.7
24 ※2	223,281	165,191	48,340	7,385	2,365	74.0	21.6	3.3	1.1

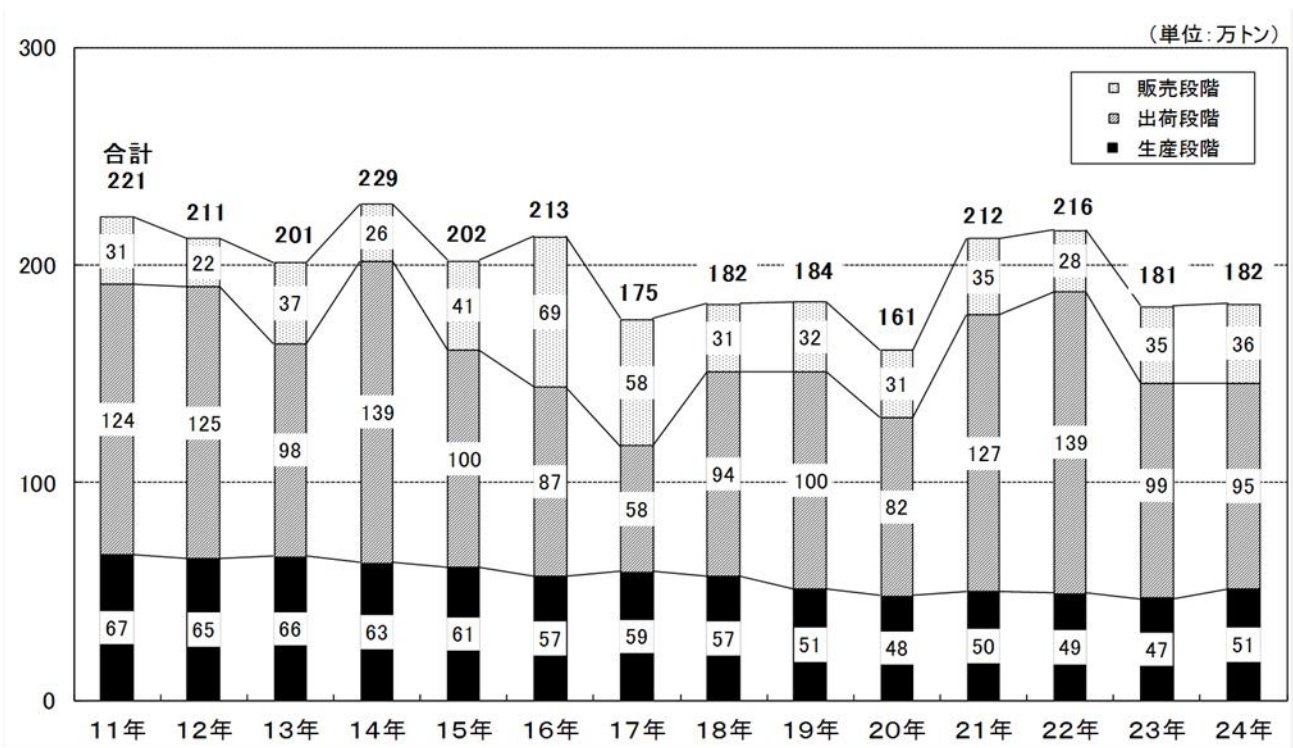
資料：農林水産省とりまとめ
注1：「1等比率」とは、農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。
2：※1の23年産については、平成24年3月31日現在(速報値)
3：※2の24年産については、平成24年8月31日現在(速報値)

② 水稻うるち玄米の1等比率の推移



資料：農林水産省とりまとめ
注1：「1等比率」とは、農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。
2：1等比率については、4月以降変動が軽微なため、平成23年産から、翌年4月末～翌年9月末の間、公表していない。

Ⅵ 民間流通における6月末在庫の推移



資料: 農林水産省調べ
注1: うるち玄米及びもち玄米の値である。
2: 各年の民間在庫量において、
①平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。
②平成15年については、
・販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量である。
・出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
③平成14年以前については推計値であり、
・販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。
・出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。
なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」(平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」)を基に算出した在庫量から精米在庫量(推計)を控除した玄米在庫量である。
3: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

Ⅶ 備蓄米及びMA米の動向

(1) 国内産備蓄米の売買数量及び在庫数量

① 24年産国内産米穀の政府買入入札の結果（第8回：最終 平成24年6月19日実施）

1 入札者数等

入札参加資格者数	90
入札者数	5
落札者数	5

2 落札数量等

単位:トン

買入対象米穀の産地	提示数量	入札数量	落札数量
指定なし	117,021	411	411

(参考) 第1回から第8回の入札における落札状況

単位:トン

買入対象 米穀の産地	買入予定 数量	第1回 (1月19日)	第2回 (2月7日)	第3回 (2月21日)	第4回 (3月6日)	第5回 (3月19日)	第6回 (4月17日)	第7回 (5月22日)	第8回 (6月19日)	落札数量 累計
提示数量	200,000	200,000	181,629	139,701	125,285	119,990	119,478	117,986	117,021	
指定なし	125,460	2,004	11,571	3,730	3,648	309	1,492	965	411	24,130
北海道	7,860		5,003	669	96					5,768
青森	2,400	1,002	192	180	1,014					2,388
岩手	5,680		4,846	258		45				5,149
宮城	5,700			3,952						3,952
秋田	13,230	8,843	420		252	80				9,595
山形	7,690	4,669	569	2,452						7,690
福島	1,320			52						52
茨城	90			90						90
栃木	2,500	1,050		798						1,848
千葉	100		99							99
新潟	10,120	233	9,200		165	16				9,614
富山	7,920		7,920							7,920
石川	1,120	420	120	100	120	50				810
福井	2,430		1,300							1,300
長野	100			93						93
三重	700			699						699
岡山	180	150								150
広島	1,020		448	155						603
山口	3,000		50	723		12				785
香川	590									0
愛媛	420			345						345
福岡	120			120						120
佐賀	190		190							190
熊本	60									0
道県別枠	74,540	16,367	30,357	10,686	1,647	203				59,260
合 計	200,000	18,371	41,928	14,416	5,295	512	1,492	965	411	83,390

※ 岡山産の第1回落札残数量(30トン)、千葉産の第2回落札残数量(1トン)、長野産の第3回落札残数量(7トン)、三重産の第3回落札残数量(1トン)及び青森産の第4回の落札残数量(12トン)については、最小申込数量(50トン)に満たないため、「指定なし」に繰り入れた。

② 国内産備蓄米の売渡数量

最近における政府備蓄米（主食用）の販売状況

(単位:千トン)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
19/20年	17	24	20	21	20	7	0	1	0	1	0	6	117
20/21年	26	34	15	14	16	17	13	13	13	14	10	11	196
21/22年	6	4	4	3	3	2	1	2	2	1	2	1	31
22/23年	1	1	1	0	0	0	0	0	—	—	—	—	3
23/24年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：農林水産省「最近における政府備蓄米（主食用）の販売状況」

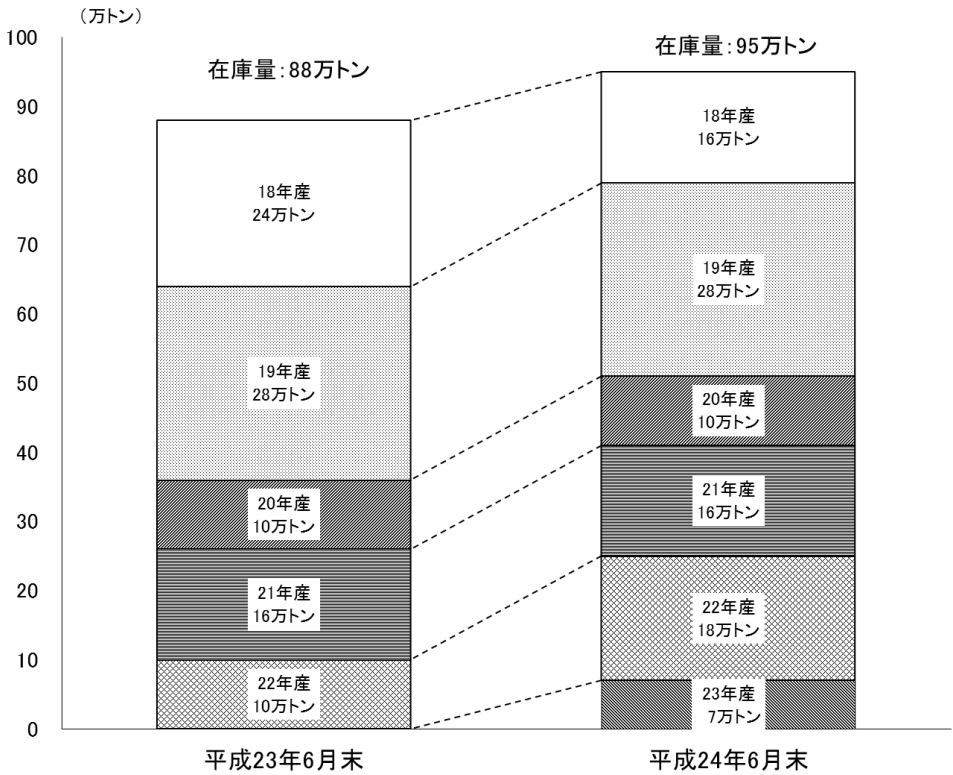
注 1：期間については、22/23年であれば、平成22年7月～23年6月である。

2：販売数量は実際に卸売業者等が引き取った実績であり、契約数量とは異なる。（平成23年2月まで）

3：19/20年の11月・12月については緊急対策による販売停止以前に契約された分の引取数量であり、1～5月については矯正施設向けに販売し、引き取られた数量である。

4：平成23年1月をもって、政府所有国内産米穀（主食用）の販売入札（2月引取分まで）を終了している。

③ 政府備蓄米の在庫の状況（平成24年6月末現在）



資料：農林水産省調べ

注 1：うるち玄米の数量である。

2：平成24年6月末在庫は、本年3月に、(社)米穀安定供給確保支援機構が所有する販売環境整備米8万トン(22年産)を買い入れ、4月以降、その代替として備蓄米4万トン(18年産)を飼料用に販売した後の値である。

3：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

④ 23年産米の特別隔離対策等による米の供給減少分の代替供給量（※）

（単位：トン）

産 年	申込数量	落札数量
19年産	50,507	20,000
20年産	47,565	6,300
21年産	79,285	13,700
計	177,357	40,000

資料：農林水産省「23年産米の特別隔離対策等による米の供給減少分の代替供給について」から
※：①東日本大震災により、倉庫に保管されていた平成22年産米が被災し、これを平成23年産米で埋め合わせる形で供給が行われたこと
②特別隔離対策（100 Bq/kgを超える平成23年産米の特別隔離対策）の対象となる米が市場隔離されることから供給量が減少したことに伴い、①及び②に見合う量4万トン（震災による倉庫被災分2万トン程度＋特別隔離対策による隔離数量2万トン程度）の代替供給を政府備蓄米から行った数量
注1：平成24年6月26日入札実施
2：引取期限は平成24年8月31日

（2） M A 米（一般・S B S）の動向

① M A 米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
米国	19	23	29	32	34	36	36	36	36
タイ	11	14	15	15	16	17	15	15	15
中国	3	4	5	8	9	10	14	11	11
オーストラリア	9	9	9	11	11	12	11	10	9
その他	1	1	2	2	2	2	1	5	5
合計	43	51	60	68	72	77	77	77	76
（うち一般輸入）	42	49	54	55	59	63	66	71	65
（うちSBS輸入）※	1	2	6	12	12	12	10	5	10

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 （9月末現在）
米国	36	36	36	36	43	36	36	36	5
タイ	19	19	18	25	27	33	35	24	2
中国	10	9	8	8	7	7	2	6	1
オーストラリア	2	2	5	－	－	－	4	7	3
その他	10	11	10	1	0	1	0	4	0
合計	77	77	77	70	77	77	77	77	11
（うち一般輸入）	66	66	66	59	66	66	72	66	9
（うちSBS輸入）※	9	10	10	10	10	10	4	10	3

資料：農林水産省「ミニマム・アクセス米をめぐる状況」
※S B S輸入数量の単位は万実トン。
注1：各年度の輸入契約数量の推移。なお、平成24年度については、入札結果を含んだ数値である。
2：実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。
（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

② 一般輸入米(加工原材料用)の販売状況(平成24年度)

(単位：トン)

	うるち	もち
平成24年4～6月分 (平成24年3月12日、16日及び23日実施分)	21,047	－
4月分 (平成24年3月12日、16日及び23日実施分)	1,200	698
5月分 (平成24年4月10日、17日実施分)	799	62
6月分 (平成24年5月11日、18日実施分)	1,899	34
合 計	24,945	794
	25,739	

資料：農林水産省「加工用原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の定例販売の結果について」、「加工用原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

③ SBS米の販売状況(平成24年度)

(単位：トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回(平成24年9月25日)	一般米	6,280	0	40	0	12,056	0	4,124	0	22,500
	砕精米	428	216	598	244	208	0	806	0	2,500
合計	一般米	6,280	0	40	0	12,056	0	4,124	0	22,500
	砕精米	428	216	598	244	208	0	806	0	2,500
平成22年度計 (参考)	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450

資料：農林水産省「平成22年度輸入米に係るSBSの結果の概要」、「平成23年度輸入米に係るSBSの結果の概要」、「平成24年度輸入米に係るSBSの結果の概要」